

## 出張！川崎出張所～自衛隊入隊制度説明会 ～自衛官募集業務の最盛期に向けてスタート！

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明1等陸尉）は、7月7日（日）、川崎市総合自治会館（川崎市中原区）において自衛隊入隊制度説明会を実施した。

6月に開催された「川崎市市制100周年記念イベントかわさき飛躍祭」で自衛隊ブースに来てくれた高校生も友人を連れて説明会に参加してくれ、陸上自衛隊の職種の一つである「普通科」に興味があるという友人に、普通科隊員の広報官が、「特に普通科は人数が多いので、たくさんの方がいて面白いし勉強になるよ」と、災害派遣などの自身の勤務経験を交えて説明すると、リアルな内容に感心した様子だった。

また、自衛隊のことを全く知らないという参加者もいたが、広報官が陸・海・空それぞれの自衛隊の特性や生活環境の違いなどを時にはユーモアを交えて説明し、参加者の質問にも丁寧に対応したことで、海上自衛隊を受験することを決めてくれるなど、志願者の獲得につながる有意義な説明会になった。

川崎出張所は、「これからの自衛官募集業務の最盛期に向けて、良いスタートを切ることができた。これからも自衛隊の入り口を広げて、新隊員獲得にまい進していきたい」としている。



## カウントダウンは「あと〇カレー」？ ～今井中学校での職業講話に参加～

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明1等陸尉）は、7月10日（水）、今井中学校（川崎市中原区）で実施された職業講話に参加し、様々な職業の講師が集まる中、「自衛隊」を選んでくれた約20名の生徒たちに、広報官が講話を行った。

講話では、生徒たちが働くことに関心を持ち、自己の将来や社会のことについて考えるきっかけとなるよう、自衛隊には100種類以上の多様な仕事があることや実際の災害派遣の活動内容などを紹介した。

生徒たちは、海上自衛隊の広報官から、航海に出ると曜日感覚がなくなるため、海上自衛隊では、毎週金曜日の昼食に出るカレーライスで曜日感覚を取り戻し、「寄港まで、あと〇カレー」とカウントダウンするという話を聞くと驚いた様子で、「でも、あと〇カレーだと長すぎるから、10カレーぐらいからカウントダウンを始めるだけだね!」と付け加えるとクスクスと笑い声を上げていた。また、広報官の制服に付けられた防衛記念章を見て「その胸についているのは何ですか?」と質問するなど、生徒たちが関心を持って聞いてくれるよう工夫して講話を実施したことで、終始和やかな雰囲気で行うことができた。

川崎出張所は、「職業講話を通じて自衛隊のことを知り、今後も自衛隊の活動に興味を持ってもらえるとうれしい」としている。

